



# モノ、ヒト シゴト

TOYOKAWA PRODUCE

豊川市が誇るモノづくりと、それに携わるヒト  
を紹介します。

## VOL. 24 常識を変える仮設トイレに

Gテクノ株式会社  
環境事業部・森 尚子さん

### 国内初の水洗仮設トイレ

ガードレールや太陽光発電設備の設計・施工を手掛けるGテクノ。平成28年、国内で先駆けて太陽光発電を利用した水洗仮設トイレ・サラオを開発した。営業担当の森さんは、「工事現場の方と接する中、皆さんが仮設トイレは汚いと感じていると知り、気持ちよく仕事ができるように改善したいと考えた」という。

### 利便性と快適性の両立

工事現場やイベント会場などで多く利用されている仮設トイレ。移動や設置のしやすさが求められることから、水道や電気などの設備を省いた簡素なトイレが主流だった。しかし、水を満足に使えないため便器の汚れを落とさきれないことや、汚水を使器の下に溜め込むことが臭いの原因になっていた。

仮設トイレの特徴である設置の簡易さなどの利便性を損なわず、汚れや臭いを改善する。それを可能にしたのは、自社の太陽光発電

技術だ。発電した電気を使い、水流で汚れの付着を防ぐ水洗トイレを導入した。さらに、臭いの原因となる汚水タンクを仮設トイレの外に設置し、タンク上部に微生物を含む腐葉土を敷き詰める独自技術を採用。微生物の働きを利用することで、臭いの発生を大幅に低減させた。「現場の方の『いつも清潔だから利用することに抵抗がなくなった』という声がうれしい」と話す。

### 場所を選ばないトイレに

開発以降、工事現場の他、災害現場などでも広く使用されているサラオ。令和2年には、組み立て式を開発し、搬入経路が狭く仮設トイレを設置できなかったビルなどの建設現場にも設置可能となった。

「山奥や降雪地では、発電量が不安定になるなど課題がある。利用者の声を取り入れ、どんな場所でも快適に利用できる仮設トイレを目指したい」と語る森さん。必要とする人に清潔で快適な仮設トイレを届けるため進化を続けている。

### Gテクノ株式会社

🏠 宿町佐平山48

1966年創業。ガードレール、太陽光発電設備を設計・施工。2016年から、太陽光発電技術を取り入れた仮設トイレ「自律式移動型水洗トイレ『サラオ』」の開発・製造を手掛けている



1 太陽光パネルを設置し、室内灯や水洗トイレが使用可能 2 一般的な仮設トイレの2倍の広さに加え、天然木を使用することで快適なトイレを実現 3 汚水タンク上部を腐葉土で覆うことで、微生物が臭いを分解する